

施策番号 4-2-3	施策名 道路交通環境の整備	基本目標 自然と共生する災害に強い安全・安心のまちづくり 政策名 快適な都市環境づくりの推進
主管課 環境土木課	課長名 橋本 直樹	内線 414
施策関係課 政策推進課		

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図			結果		
道路交通、公共交通における移動の快適性、利便性の向上を進めます。		町民	・交通アクセスを強化する ・目的地までの快適な移動、利便性の向上を進める			安全で快適な生活を送ることができます		
成果指標	説明	単位	策定期(基準値)	2023年度実績	2024年度実績	2025年度実績	2026年度実績	2026年度目標
① 冬期間の移動(徒歩、車、公共交通機関等)は、安全・安心と感じる町民の割合	住民意識調査	%	56.7 (R3)	58.0				70.0
② コミュニティバスの1便あたりの乗車人数	政策推進課調べ	人	7.2 (R3)	8.7				10.0
③								
成果指標設定の考え方	①冬期間の移動に対する満足度を向上させる施策を講じる必要があることから成果指標に設定し、段階的に向上させ、目標値を目指すもの。 ②公共交通機関に対する町民の満足度を向上させる施策を講じる必要があることから成果指標に設定し、生活交通確保維持改善計画(地域内フィーダー系統確保維持計画)に基づき年0.1人向上させ、目標値を目指すもの。							

2. 施策の事業費

	策定期決算	2023年度決算	2024年度決算	2025年度決算	2026年度決算
施策事業費(千円)	851,866	965,549			

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2023年度の成果評価(基準年との比較)	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上した <input type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	成果指標①向上→降雪状況に対する除雪作業が主な要因と思われる。 成果指標②向上→路線変更等を講じたことが主な要因と思われる。
②第5期総合計画後期実施計画(2026年度)の最終的な目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標は達成できる <input type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標達成は難しい <input type="checkbox"/> いが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	①除雪作業に対する理解度を高め、玄関前除雪(間口除雪)の対象範囲拡大を検討する。 ②コミュニティバスの利用状況を分析し、課題点に対する対応策を講じる。
(2) 施策の成果評価に対する2023年度事務事業総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	町道・歩道・駐車場等除排雪事業 地域公共交通確保対策事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	●地域公共交通の確保 →コミュニティバス運行路線を見直し、利便性向上を図った。 ●道路パトロールと維持修繕 →パトロール強化及び損傷か所の早期発見、修繕を目的とした「道路施設維持管理業務」を民間会社で組織する組合に委託し、道路利用者の安全確保に努めた。 ●除雪作業 →降雪及び風雪状況に応じた除雪とパトロールを適宜実施し、冬期間の道路利用者の安全確保に努めた。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果(計画策定期との比較)

担当課評価	降雪状況等に応じた除雪作業及びコミュニティバスの利便性向上を図り、前進したと判断する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		

A:実現した B:(後期実施計画策定期と比較して)大きく前進した
D:(後期実施計画策定期と比較して)変わらない又は維持した C:(後期実施計画策定期と比較して)前進した
E:(後期実施計画策定期と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<p>『施策を取り巻く状況』</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業生産機械や輸送機械の大型化に伴い、安全な道路構造が求められている。 橋りょう長寿命化修繕計画に基づく修繕が求められている。 <p>『今後の予測』</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路施設の経年劣化により、道路の補修量の増加が見込まれる。 同一規準での整備ではなく、各路線の役割に沿った規準で整備を進めることにより、整備延長を増加させる必要がある。
この施策に対して住民・審議会・議会からどのような意見や要望が寄せられ、どのように改善したか。	<ul style="list-style-type: none"> 郊外の砂利道について舗装にしてほしい。 →道路整備計画(5か年)の優先順に整備を進めている。 玄関先の除雪(間口除雪)を検討してほしい。 →身体の不自由な方でお近くに頼れる方がいない家庭を対象に実施し、範囲拡大について検討している。 高齢者の方々の免許返納に対する町の支援が必要である。 →免許返納窓口を庁舎内に年2回設置した。

5. 施策の課題認識(現状の課題、第5期総合計画後期実施計画期間において新たに取り組むべき課題)

●交通弱者への交通手段の確保(地域公共交通確保対策事業)

農村部については、高齢者を対象にしたタクシー助成の利用者が増えてきており、引き続き周知を図る。市街地については、コミュニティバスの利用状況を分析する必要がある。

●安全で安心な道路環境の整備(町道・歩道・駐車場等維持管理事業)

老朽化した橋りょうの修繕、交通安全施設や緑化、省エネ街灯などの環境対策、案内標識の整備、高齢者や障がい者など、多様な人々に配慮した道路環境整備を計画的に実施する。

冬期間における除排雪対策を含め、車道・歩道の適切な維持管理を行うため、拠点となる車両管理センターの移転改築を進める必要がある。

6. 経営戦略会議(庁内評価)

評価	担当課評価同様に、前進したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	5に記載の取り組みを進めてください。	A:実現した B:(後期実施計画策定期と比較して)大きく前進した C:(後期実施計画策定期と比較して)前進した D:(後期実施計画策定期と比較して)変わらない又は維持した E:(後期実施計画策定期と比較して)後退した					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	庁内評価同様に前進したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> 農業機械の大型化が進んでいるため、支障のない道路整備をしてほしい。除雪のポールが引っかかる。(S字) 車を歩道に駐車しているところをみる。ルール作りが必要ないか。 パトロールで、通学路や交差点の雪山、交通量が多いところを重点的に見てほしい。 	A:実現した B:(後期実施計画策定期と比較して)大きく前進した C:(後期実施計画策定期と比較して)前進した D:(後期実施計画策定期と比較して)変わらない又は維持した E:(後期実施計画策定期と比較して)後退した					